

# 『身の丈』にあった計画を...～新庁舎建設に係る所見～

この度実施いたしました新庁舎建設のアンケート調査につきましては、多くの市民の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート結果につきまして、市民2,000名を対象とし、回収率は59.6%、1,177名の方々からの回答が得られました。

アンケート結果全般からは、建設には賛成ではあるが、規模や機能、費用や財政負担の過重を避け、稲敷市の「身の丈」にあった新庁舎建設が望まれていると判断できます。

しかしながら、庁舎を一箇所に集約するなど、行政事務の「効率化」という行政目線だけでは、市民の皆様の理解が得られないと認識しております。

本来、庁舎問題は、新庁舎の建設だけでなく、出先機関等も含め、「行政サービスのあり方」の中で、市民の皆様が望んでおられることを考慮しながら、検討・実行されるものであるべきと考えております。

そのため、現在の庁舎機能のあり方を抜本的に見直したうえで、建設にあたっては、庁舎という器だけでなく、その中身となる行政組織機能についても、市民目線での改革を進めなければなりません。

私としては、これまでの経緯、アンケート結果を踏まえ、熟慮の結果、「市民サービス向上」を基軸とした市民共有型の「庁舎建設」を進めるべきと判断いたしました次第でございます。

今後におきましては、本質的な「市民サービス」を的確に捉えたうえで、市民の皆様にご「わかりやすい」情報発信を行い、事業を進める所存でございますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成21年9月8日  
稲敷市長 田口 久克

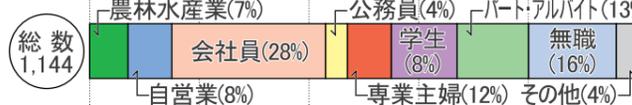
## 【設問1】性別



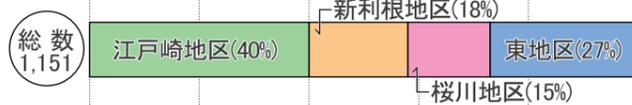
## 【設問2】年齢



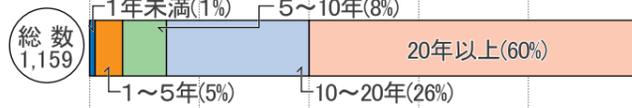
## 【設問3】職業



## 【設問4】居住地



## 【設問5】居住年数



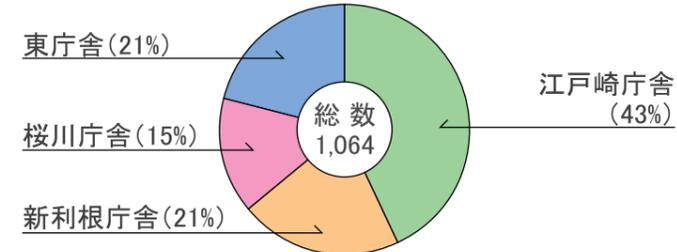
## 【アンケートの概要】

- 対象者：稲敷市民2,000人（男女、年齢、地域を勘案した無作為抽出）
- 方法：郵送配布、郵送回収
- 回収数：1,177票（回収率：59.6%）（郵送未到着25票、回答拒否・無回答20票）
- 実施：筑波大学（小場瀬教授）

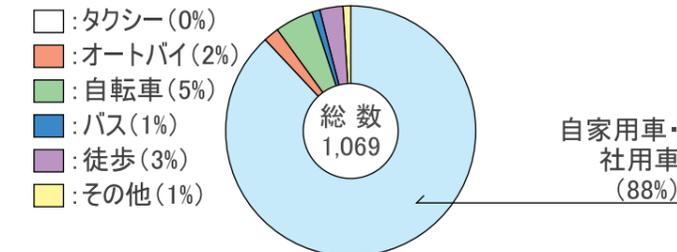
## 【設問6】市役所に行く頻度はどの程度ですか。



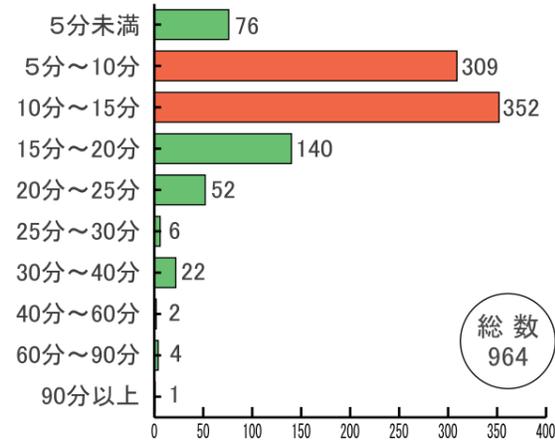
## 【設問7】どこの庁舎に一番よく行かれますか。



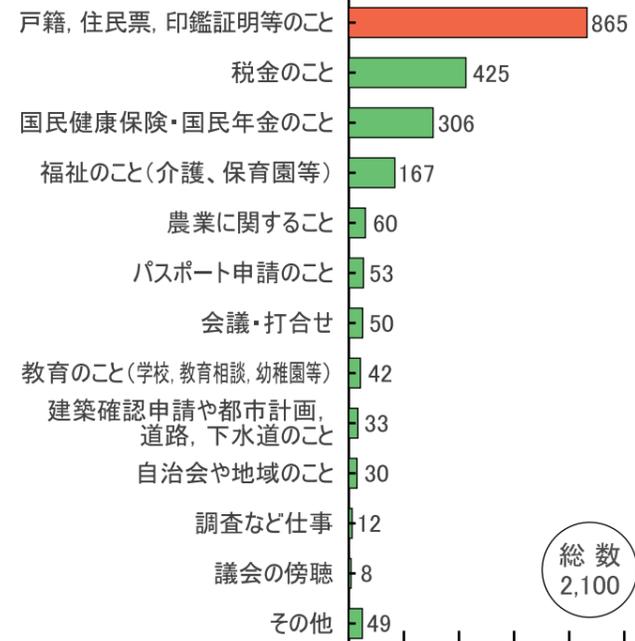
## 【設問8】あなたは庁舎を訪れる際、一番よく利用する交通手段は何になりますか。



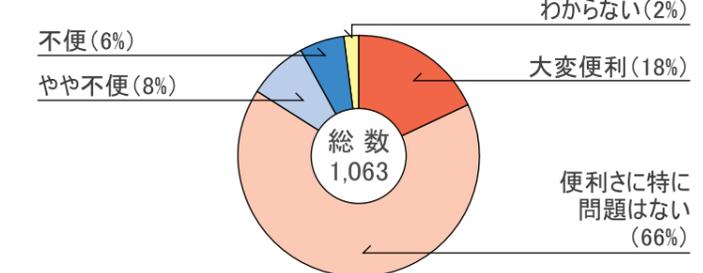
## 【設問9】あなたがよく行く庁舎に行くのにかかる時間はおよそ何分ですか。（ ）分程度



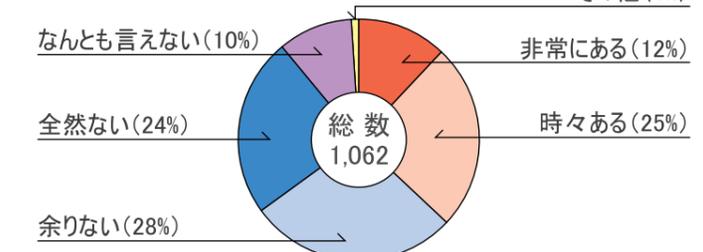
## 【設問10】どのような用件で市役所を訪れましたか。（該当するものすべてに○）



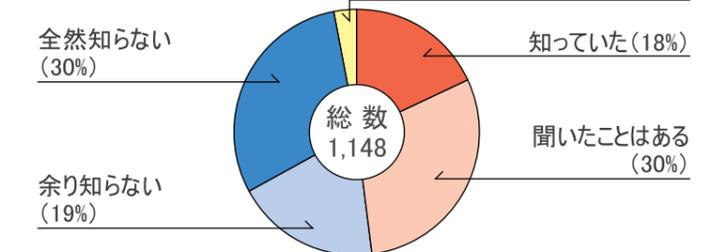
## 【設問11】あなたがよく行く市役所に現在使っている交通手段で行く時の利便さはどうでしょうか。



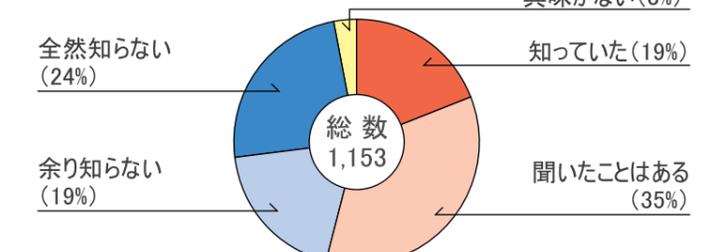
## 【設問12】庁舎が4つに分かれていて不便を感じたことがありますか。



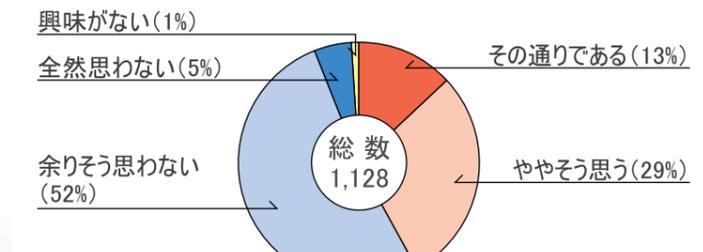
## 【設問13】「合併に伴う財政支援が受けられる期間内に、新庁舎を建設するものとし、その位置については、新市において検討する」としてご存知でしたか。



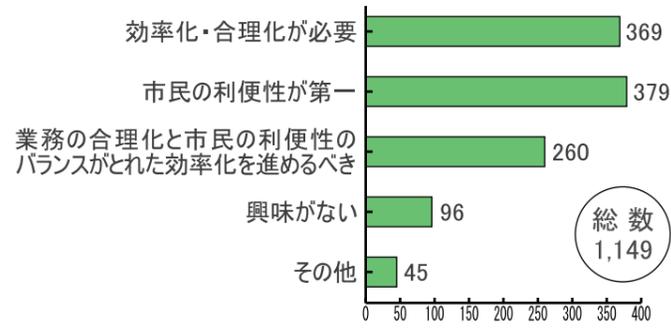
## 【設問14】合併の際、立案された「新市建設計画」の中で新庁舎の建設がうたわれています。このことについて伺います。



## 【設問15】現況のように福祉、税務、建設等が別の庁舎に分かれている分庁方式だと、なかなか業務の効率化や市民の利便性向上が進まず非効率とされています。このことについて伺います。



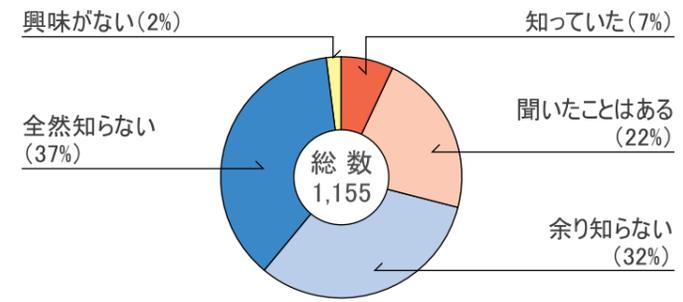
【設問16】 合併する際、市役所業務の合理化が求められました。このことについて伺います。



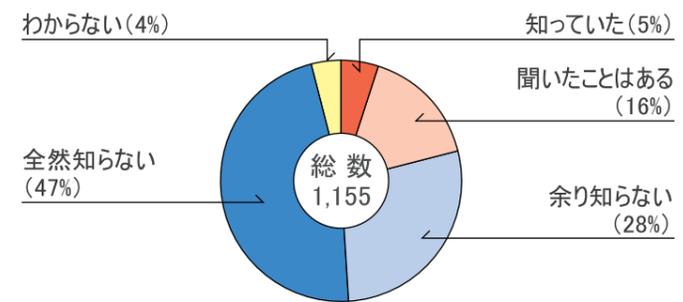
【設問17】 現在の各庁舎の建物については新耐震基準に対応していないものも少なくなく、老朽化が進み大規模な修繕が必要となっております。

そこで「新庁舎建設基本構想」の中で検討され、耐震補強と大規模修繕に約19億円程度の工事費がかかることとされています。

既存庁舎の耐震補強を行い使用したとしてもコンクリートの経年劣化による耐用年数（築後47年）には建替え等を実施しなければなりません。稲敷市の場合、ほとんどの庁舎が15年後ぐらいには耐用年数を向かえるため、新庁舎を建設したほうがかなりの経費が節減できるという試算がされています。このことについて伺います。

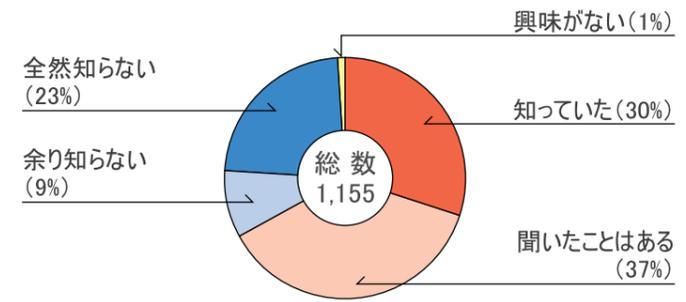


【設問18】 「新庁舎建設基本計画」では、新庁舎の建設には45億円が予定され、そのうち25億円は以前からの積立金、残りの20億円は新市建設に伴う合併特例債※で対応する計画になっています。このことについて伺います。

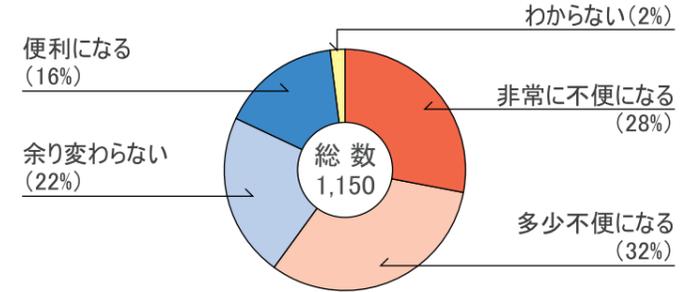


※ 合併特例債：合併してから10年間（平成17年度から平成26年度）に借りることの出来る資金で返済額の約7割が普通交付税に算入され、市にとっては有利な資金となっています。

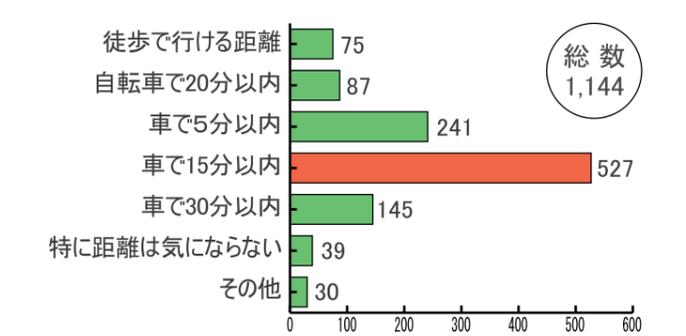
【設問19】 建設予定地の選定にあたり、「市の真ん中」「人口の中心」「市、県の土地」「圏央道インターチェンジ付近」といった観点から7つの候補地が検討され道路、水道、下水道、路線バス、利便性、コスト面、法的規制等について評価した結果、江戸崎西高等学校跡地が選ばれました。このことについて伺います。



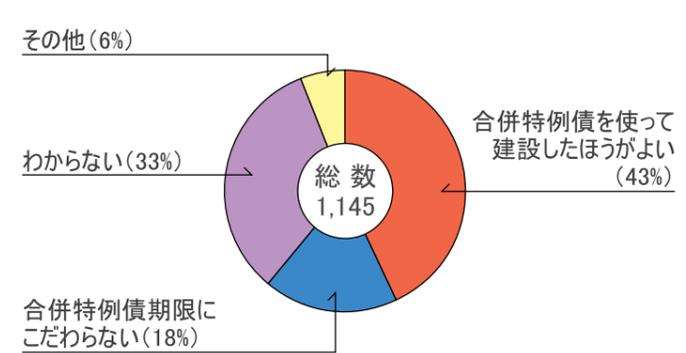
【設問20】 江戸崎西高校跡地に新庁舎がまとめられると、あなたにとって不便さは？



【設問21】 自宅から庁舎までの距離はどれぐらいが不便を感じずに訪れることができますか。

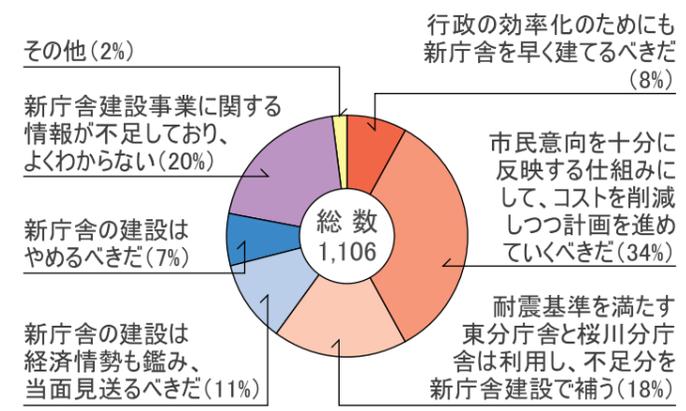


【設問22】 合併特例債※ 期間内（平成26年度まで）での建設について、あなたのお考えに一番近いものを以下からお選びください。

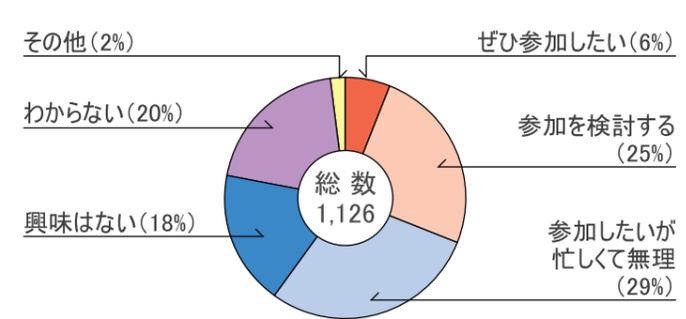


※ ワークショップ（workshop）：英語のももとの意味は、「工房」「作業場」など、共同で何かを作る場所を意味しています。それが、住民参加のまちづくりにおいて、一方的な知識伝達のスタイルではなく、自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイルの会議の場です。

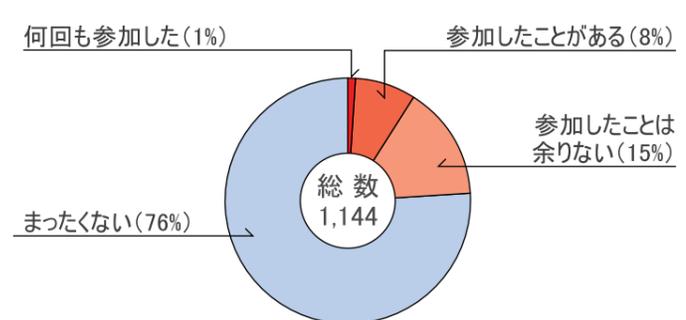
【設問23】 新庁舎の建設には賛否両論色々あります。あなたのお考えに一番近いものは？



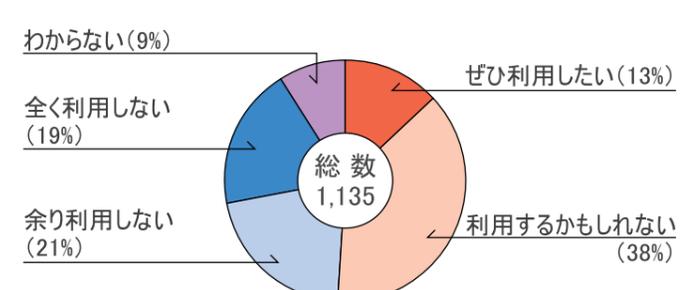
【設問24】 新市庁舎を市民参加のもとで計画するために委員会なりワークショップ※を開催するならば、あなたは参加したいと思いますか。



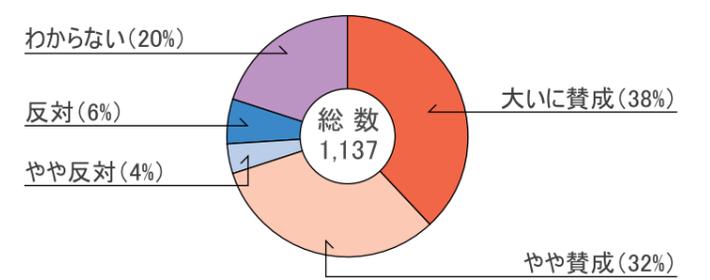
【設問25】 今までに行政にかかわる委員会の委員になったりワークショップ※に参加した経験がありますか。



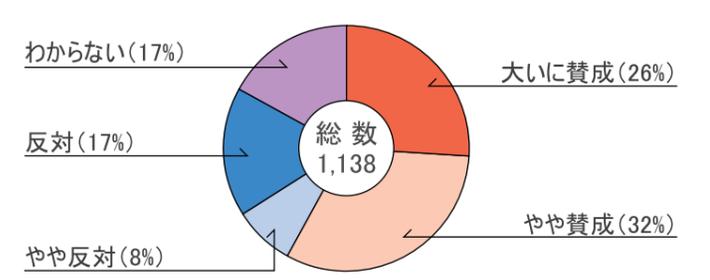
【設問26】 新庁舎では大規模な駐車場を用意して、東京への高速バスに乗る時に車でそこまで行って駐車させることが出来るようにする計画（パーク・アンド・ライド方式）が考えられますが、あなたのご利用になりますか。



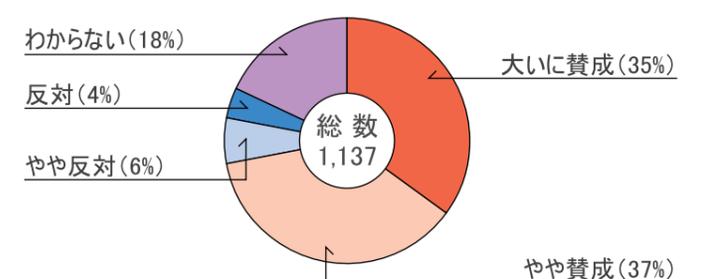
【設問27】 庁舎の会議室等を夜間や土日に市民に開放している自治体もあります。あなたは賛成ですか反対ですか。



【設問28】 新庁舎の前にお祭り用の芝生広場を計画することも考えられます。お祭りが無い時はグラウンドゴルフ場やゲートボール場に利用することも考えられますが、あなたは賛成ですか反対ですか。



【設問29】 基本計画では「市民に分かりやすく」「開かれた庁舎」「耐震性に優れ」「環境に配慮した」「社会情勢の変化に対応できるフレキシブルで長寿命な庁舎」を提唱しています。加えて「計画への市民参加」、「市民への庁舎開放」の観点を強化して建設することが考えられますがあなたのお考えをお聞かせください。



今回、掲載したアンケート結果は『概要版』です。詳細は、稲敷市のホームページ、または、各庁舎の総合窓口・各公民館でご覧になれます。

《ホームページ》  
<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

【お問合せ先】  
稲敷市 市長公室 秘書広聴課  
政策審議室（江戸崎庁舎）

〒300-0595 稲敷市 江戸崎 甲3277-1  
《電話》029-892-2000 (2610、2611)  
《メール》seisaku@city.inashiki.lg.jp